

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		成人保健事業費〔いきいきヘルシー教室〕										
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	事業番号	4	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	健康			課			保健			係	課長名	志村明子
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	2 - 1		
【施策名】 保健・医療の充実									総合計画書(ページ)	47		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	おおむね40歳から64歳までの市民					40歳から64歳までの市民(令和2年4月1日時点)						
	→											
1 この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	テーマに沿った事項について、正しい知識を得ることで健康意識が向上する。					教室参加者数(延べ)						
	→											
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	テーマ・内容の選定 講師と調整 広報(市報・ホームページ・ポスター・チラシ)作成 健康機器の借用 教室開催 アンケート集計					実施回数						
	→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	人	29,381	29,476	29,774						
	成果指標	②の数値	人	38.0	37.0	16.0						
	目 標	②の目標値	人	20	20	8						
		目標値設定の考え方 教室の定員を満たす										
活動指標	③の数値	回	4	4	4							
3 経費	事業費(実績)		円	77,185,748	82,285,939	66,218,081	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	65,031,287	72,431,574	56,331,863						
		特定財源(国・都・他)	円	12,154,461	9,854,365	9,886,218						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2						
		所要人数(再任用)	人	1,648,800.0	1,662,000.0	1,676,000.0						
		職員人件費(再任用以外)	円									
職員人件費(再任用)	円											
事業費+人件費		円	77,185,748	82,285,939	66,218,081							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成9 年度 以前									
	(2) 環境の変化		老人保健法の健康教育に基づき、心身の健康についての自覚を高め、かつ、心身の健康に関する知識を普及啓発するために開始された。 平成14年より健康増進法第17条による健康教育として実施する。生活習慣病の予防その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、自らの健康は自らが守るという認識と自覚を高め、健康の保持増進を図る。									

事業名称	成人保健事業費〔いきいきヘルシー教室〕			
担当部署・課長名	健康	課	保健	係 課長名 志村明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	アンケートから、初めてINBODYの計測ができて良かった。自分の体や食事を振り返るきっかけになった。実習がなかったので残念。調理実習が難しければデモ（講師の調理）を見たい等の意見が出た。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	参加者が少ない			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	教室のテーマを検討。 新型コロナで緊急事態宣言下で実施した教室もあった。感染症対策を講じるため、定員数の大幅削減や内容を変更して実施。 ターゲットの年齢層の参加者が参加しやすいように保育付で実施			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
外出自粛で健康教育の重要性は上っている。 参加者が少ない。 対象の年齢層が参加していない。（65歳以上69%、40歳未満25%）				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： 保健・医療の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 市民のニーズも反映させたテーマを選定し、参加者数の増加につなげる。 教室の周知方法の更なる検討 コロナ禍でも感染症対策を講じて継続実施していく。終息後であれば調理実習を取入れる等、内容の充実させる。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
テーマを選定する上での情報収集の必要がある。				